

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【英語/コミュニケーション英語Ⅱ】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）
2. 単元名 “Lesson 6 Ueno Takahiro: The Dancer in Me”（Big Dipper E.C.Ⅱ 数研出版）（全8時間）
3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる単元の評価規準

①知識・技能	・人の性質や自らの経験を表す語彙や表現を理解している。 ・自分がなりたい大人像について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝える技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	世界的に有名なダンサーについての物語を参考にしながら、理想とされる人間像について考え、自分がどのような大人になりたいのか自分の考えを伝えている。
③主体的に学習に取り組む態度	聞いたり読んだりして得た情報を活用しながら、理想とされる人間像について考え、自分がどのような大人になりたいのか自分の考えを伝えようとしている。

4. 本時の目標 カッコイイ大人の条件について考える材料を用いて自分の考えを書くことができる。

5. 授業展開【単元】

解決したい課題や問い

What kind of person do you want to be in the future?
(志望理由書のような書式に記入する答えと想定して)

考えるための材料

- 1 教科書：本文（上野隆弘について）
- 2 映像資料：上野隆弘ダンスコンテストの映像（インタビュー含む）
- 3 プレゼンテーションのモデル：毎時間教師が行う。教師がカッコイイと思う大人の紹介等

想定される活動

- ・教科書本文について、上野隆弘のカッコイイと考えられる部分について注意して読むとともに、概要や要点を図表に整理する。
- ・映像資料にて、上野隆弘のダンスを視聴し、カッコイイと感じた点を箇条書きにする。
- ・教師の紹介する人物に関して、カッコイイと教師が感じている点を理解しメモする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・カッコイイ大人ってどんな大人だと思うかについて対話する。
- ・カッコイイ大人が持つ要素をあらわしたキーワードについてグループで優先順位を考え、順番に並べ替えるなどしながらカッコイイ大人についての考えを共有する。
- ・読んだり聞いたりして得た情報を活用して、自分がなりたいと思う大人像についての考えをメモする。メモを用いて自分の考えについてやり取りしたり、簡単なまとまりのある短い説明文を書いたりする。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

（一般的な解答例）

I want to be a kind person. When I see someone who have troubles, I want to help. Now I do not have courage and cannot help sometimes. So, when I become an adult, I want to have more courage.

※下線部のような文法上の誤り等はみられるが、伝えたい内容を伝えている。また、解決したい課題や問いに対する答えとして十分なものとなっている。